

# 高島公民館だより

高島公民館  
(アイリッシュパーク内)  
〒520-1121  
高島市勝野670  
TEL 36-0219  
FAX 36-1909  
t-kominkan@city.takashima.lg.jp

2022年 4月号 2022.3.23 (文責:高木)

## 2022 高島公民館 教室・講座案内(ご参加ください)

3月も後半になるとだんだん暖かくなり、つい先日まで厳しい寒さであったことが不思議なくらいです。春がそこまでやってきました。しかし、新型コロナウイルス感染状況は依然として予断を許さない状況であることには、憂いはありません。高島公民館は、感染対策をしっかりとて皆さまが安心して利用できるよう心掛けます。

物語が展開するスピードと伏線回収が話題となっている朝ドラ、カムカムエブリバディは終盤を迎えています。ひなた(川栄季奈さん)と桃太郎(青木柚さん)の父親、錠一郎(オダギリジョーさん)は、かつてプロのトランペッターをめざしていたことを、人生の不遇なことをめぐって喧嘩をしていた娘・息子に打ち明けます。日常生活はできるのにトランペットが吹けなくなる原因不明の症状が出て、数多くの病院や名医に診てもらっても治らず、人生に絶望し、大切な人とも別れて命を絶とうとまでしました。その状況をのり(深津絵里さん)が救ってくれ、妻となってくれた。それから30年何度もトランペットに挑戦してきたけれど望みはかなえられなかった。

「そんな絶望の中でも人生は続く」と錠一郎は子どもたちに語りかけました。この物語のキーワードとなっている「暗闇でしか見えぬものがある。暗闇でしか聴こえぬうたがある。」と重なり、本当に深みのある言葉でした。また、「あんこのおまじない」の精神が、この物語を貫いています。

「小豆の声を聴け。時計に頼るな。目を離すな。何をしてほしいか小豆が教えてくれる。食べる人の幸せそうな顔を思い浮かべ。おいしゅうなれ。おいしゅうなれ。その気持ちが小豆に乗り移る。うんとおいしゅうなってくれる。甘えあんこが出来上がる。」このおまじないは、人やものと接する基本であるようにも感じます。次年度の公民館教室・講座のみならず、公民館職員は各種事業でこの気持ちを大切に臨んでいきます。そして、少しでも皆さまの文化的・健康的な生活に寄与できることをめざし、公民館として各種事業が実行できるように職員一同誠心誠意努力する所存です。皆さまのご協力をお願いいたします。

公民館教室・講座の申込みについては、「広報たかしま」5月号に掲載される申込用紙にて(5月15日締め切り)、また、子ども教室については、4月に学校から配布される子どもの活動情報誌にある申込用紙にて(5月8日締め切り)各公民館へご提出ください。詳しくは公民館に掲示しているパンフレットをご参照ください。

講座名	対象	定員	回数	実施日	実施時間	実施場所	講師	料	備
高島市歴史と自然	18歳以上	20人	5回	6月~10月第1火曜日 6/7・7/5/8/2・9/6・10/4	9:00~12:00 (12/18:50~14:00)	高島公民館・観地	三宅 晴氏 高島忠男氏 水谷裕之氏 三矢信博氏 ほか	年会費 1,000円	今年度のテーマも歴史と自然。古墳や寺院を巡り、みちのくで活躍してきた高島人の足跡を若手歴史家とズームで交流しながら学びを深めます。八潮の魂や古民謡(地歌)を聴いて高島の自然も満喫します。
すこやか健康講座	18歳以上	20人	5回	6/13, 7/20, 8/17, 9/21, 10/15 (すべて火曜日)	9:30~11:00	高島公民館	川島 直之氏 (理学療法士) 高島市健康推進課	年会費 1,000円	「呼吸筋を鍛えよう」、「食べる楽しみをいつまでも」、「フレイル(衰いの状態)」や「認知症」の予防運動など、様々な健康情報を専門家にによる実地指導などとお届けします。
体がよくなる健康講座	18歳以上	20人	9回	6月~7月 毎週水曜日	13:30~16:00	高島公民館	橋本さゆり氏 (フィットネスインストラクター)	年会費 2,000円	毎年好評をいただいている健康講座です。若い方も、男性も女性も、各人の体力に合わせて「体が重く」健康体操(ストレッチ・筋トレ)や有酸素運動を行います。
土と遊ぶ 高島陶芸教室	16歳以上	15人	5回	6月~10月第1日 10/13・17日 (すべて土曜日)	9:30~12:00	高島公民館	山口 美穂氏 (陶芸家)	年会費 1,000円 材料費 1,500円 (初回のみ)	プロ陶芸家の指導のもと、陶芸の基本を楽しく学んでいきます。初心者の方、経験者の方も、お待ちしております! ※信楽への研修旅行も予定。
ふるさとのお味 高島料理教室	16歳以上	15人	5回	6/13, 7/19, 8/20, 9/17, 10/15 (すべて土曜日)	9:30~12:00	高島公民館	法華クラブ	年会費 1,000円 材料費 500円程度 (各回)	地元のおいしい食材を使った、昔ながらの高島の家庭料理を学びます。新しい方も大歓迎! 「手間はかかっても、おいしいものが食べたい」そんな気持ちで、ぜひご参加ください。※各回、調理実習を行います。
高島子ども書道教室(毛筆)	小学生	30人	18回	4年6月~5年3月 火曜日(月1・2回)	18:30~17:30	高島公民館	白井 洋子氏 水谷とし江氏	年会費 900円 材料費 300円 テキスト代 4,800円 (毛筆と硬筆実習に 必要なものを 合わせて4,800円)	きれいな字は一生の宝物。テキスト「書」に沿って毛筆の練習をします。昇級・昇段を目指して、楽しく学びましょう! ※毛筆教室との同時受講可です。
高島子ども書道教室(硬筆)	小学生	20人	18回	4年6月~5年3月 火曜日(月1・2回)	18:30~17:30 (5/3:17:00~18:00)	高島公民館	白井 洋子氏	年会費 900円 材料費 300円 テキスト代 4,800円 (硬筆と毛筆実習に 必要なものを 合わせて4,800円)	きれいな字は一生の宝物。テキスト「書」に沿って毛筆の練習をします。昇級・昇段を目指して、楽しく学びましょう! ※毛筆教室との同時受講可です。

## わたしと家族の「そうぞく」講座 3月12日

明治安田生命が公民館支援として実施する公民館講座をこのほど実施しました。市内8名の方にご参加いただきました。まず、「そうぞく」が「争族」にならず適切な「相続」になるようにしたいところです。そのための心得や知識を講師から学びました。相続税の基礎控除額や配偶者の税額軽減、相続開始から相続税の申告までのスケジュール、生前贈与やそれに伴う贈与契約書の作成等いろいろなケースを想定して詳しく教えてもらうことができました。講座の終盤には受講者それぞれから、活発な質問があり、関心の高さを感じました。また、アンケートには、この講座を受講して概ね満足し、深まったというものがほとんどで、「なかなか難しい話だけれども、丁寧な説明で内容がよく理解できた」等の感想が寄せられました。



高島公民館 4月の予定表

1	金	
2	土	
3	日	高島学区子ども会連合会総会
4	月	休館日(図書室休み)
5	火	(図書室休み) 高島スポーツ少年団指導者協議会
6	水	
7	木	
8	金	高島スポーツ少年団入団式
9	土	
10	日	
11	月	休館日(図書室休み)
12	火	(図書室休み)
13	水	
14	木	
15	金	高島地域スポーツ振興会役員会
16	土	お話し会(和室10:30~11:00)
17	日	
18	月	休館日(図書室休み)
19	火	(図書室休み) 高島青少年育成学区区民会議常任委員会
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	休館日(図書室休み)
26	火	(図書室休み)
27	水	
28	木	
29	金	昭和の日
30	土	

### 【高島図書室から】☐☐☐☐ ☎ 36-2160

前号で芥川賞・直木賞受賞作品や2022年本屋大賞ノミネート作品の紹介をしましたが、更に今回は今、話題となっているSDGsに関する本や2024年度から使用される新五千円札の肖像となる津田梅子に関する本の紹介をします。

### 「SDGsのきほん」全18巻 稲葉茂勝 著(ポプラ社)

作者はこの本の紹介を次のように述べています。

SDGsのターゲットの一つとして「伝染病をなくす」があげられていたにもかかわらず、ななくどころか新型コロナウイルスの脅威にさらされています。でも人類は感染症の闘いに勇気をもって挑んできました。これと同じように、人類は17個のゴール(目標)と169個のターゲットに向かって闘っていかねばなりません。SDGsのゴール(目標)やターゲットのなかには、達成のためにどうすればよいのか、よくわからないものがたくさんあります。しかも、国連が決めた目標であることから、何か自分とは関係のない遠いことのように感じてしまい、SDGsに真剣に取り組む気持ちになれない人もたくさんいます。そこで1人でも多くの人に「わたしたちにできること」をやってほしいと考えSDGsを1巻1ゴール(目標)ずつ、くわしく解説するシリーズをつくりました。感染症に対しては、世界中の人たちが自分のこととして闘ってきました。それと同様、地球温暖化やマイクロプラスチックなども、より多くの人々が自分の問題として対策をたてていけば、解決できないことではないのです。このシリーズは、みなさんにSDGsを自分の問題としてとらえていただくための本です。みなさんも人類の一員としてSDGsの目標達成に向かって突き進んでいきましょう。

これらは、子ども向けに作成されたものですが、大人の方も大変わかりやすく、親子で読まれてはどうでしょうか。一冊ずつ借りることもできます。

### 「この空のずっとずっと向こう」鳴海 風 著(ポプラ社)

「外国で学びたい。夢をかなえたい。」を実現させた少女の生き方を描いた物語です。作者のコメントを紹介します。

1871年(明治4)11月12日、横浜港からアメリカに向けて出港した100人を超える使節団。使節団には、日本初の5人の女子留学生が同行しました。津田梅子、永井繁子、山川捨松、上田梯子、吉益亮子。のちの日本の女性教育、社会進出に大きな役割を果たした彼女たちはいったいどんな少女だったのでしょうか。

アニメ風の挿絵もあり、歴史上の人物伝がとても読みやすくなっています。